

作成日 2025 年 11 月 13 日
(最終更新日 20 年 月 日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 5322

課題名 : pT1b 淡明細胞型腎細胞癌における細胞質パターンと腫瘍免疫環境を用いた再発予測の研究

1. 研究の対象

2000 年 1 月～2022 年 12 月に当院で腎がんの手術を受けられた方

2. 研究期間

研究実施許可日 ～ 2027 年 3 月

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日 : 2025 年 12 月 1 日

提供開始予定日 : 該当なし

4. 研究目的

淡明細胞型腎細胞がんは、腎臓のがんの中で最も多く見られるタイプです。早い段階で見つかり、がんが腎臓の中に限られている場合は、多くの方が手術によって治ります。しかし、一部の患者さんでは、手術後に再びがんが出てくる（再発する）ことがあります。

最近の研究では、がんや周りの細胞の「免疫の働き（体を守る仕組み）」に異常があると、再発の原因になるかもしれないと考えられています。この中でも、がん細胞の形の違いや、がんの周りに集まる免疫細胞（体を守る細胞）の様子に注目されています。

本研究では、当院で腎臓がんの手術を受けた患者さんの標本（手術で取り出した組織）を使って、がん細胞の特徴（細胞の中の形の違い）や、がんの周りにいる免疫細胞の種類や数を調べます。また、がんと免疫の関係を調べるために、CD8 や PD-L1 など、免疫に関わる目印となるたんぱく質についても調べます。

特に今回は、がんの大きさが 4～7cm で、腎臓の外に広がっていない（ステージ pT1b）患者さんに対象を絞っています。これにより、比較的進行の早くない腎臓がんの中でも、再発しやすい患者さんを見分ける方法が分かるかどうかを調べることを目的としています。

5. 研究方法

この研究では、2000年1月から2022年12月までに当院で腎臓がんの手術を受けた患者さんのうち、「pT1b」という進行度で、淡明細胞型腎臓がんと診断された方を対象とします。

対象となる患者さんの手術で取り出された組織を再度見直し、がん細胞の形の違いや、がんの周りに集まる免疫細胞の様子を詳しく調べます。このために「免疫組織染色」という方法を使って、細胞の種類を見分けます。

また、「CD8」「FOXP3」「PD-1」「PD-L1」など、免疫に関わる目印となるたんぱく質がどのくらいがんや周囲の細胞にあるかも調べます。さらに、患者さんの年齢や性別、手術後の経過（再発の有無など）も調べて、これらの特徴と免疫の状態との関係を統計的に検討します。

この研究を通して、がんの周りの環境や免疫の働きが、手術後の再発にどのように関係しているのかを明らかにし、将来的に再発を予測したり治療を選ぶ手がかりとなることを目指しています。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、画像の所見、治療の内容、腫瘍再発の有無・時期、予後

試料：手術検体の病理標本

氏名、住所など患者さん個人が特定されるような情報は研究に使用しません。

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

本校単独研究

9. 研究に関する情報公開の方法

研究結果を発表する際には、患者さん個人が特定できないよう個人情報を加工して公表いたします。

10. 研究費・利益相反（企業等との利害関係）について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

本研究は講座の研究費を使用します。

外部との経済的な利益関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

11. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ご了承いただけない場合、得られた試料・情報は全て破棄します。ただし、ご了承いただけない旨の意思表示があった時点で既に研究成果が公表されていた場合など、データから除けない場合もあります。研究への利用を拒否することを決められた場合、下記の連絡先までお申出ください。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
担当者の所属・氏名：防衛医科大学校病院泌尿器科 古川 祥之
住所：〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2
連絡先：04-2995-1511（内線 5641） 電話対応時間 9時から 16時
yf6776@ndmc.ac.jp